【初心者向け完全ガイド】プロンプトの「コツ」でClaudeを最強のパートナーに



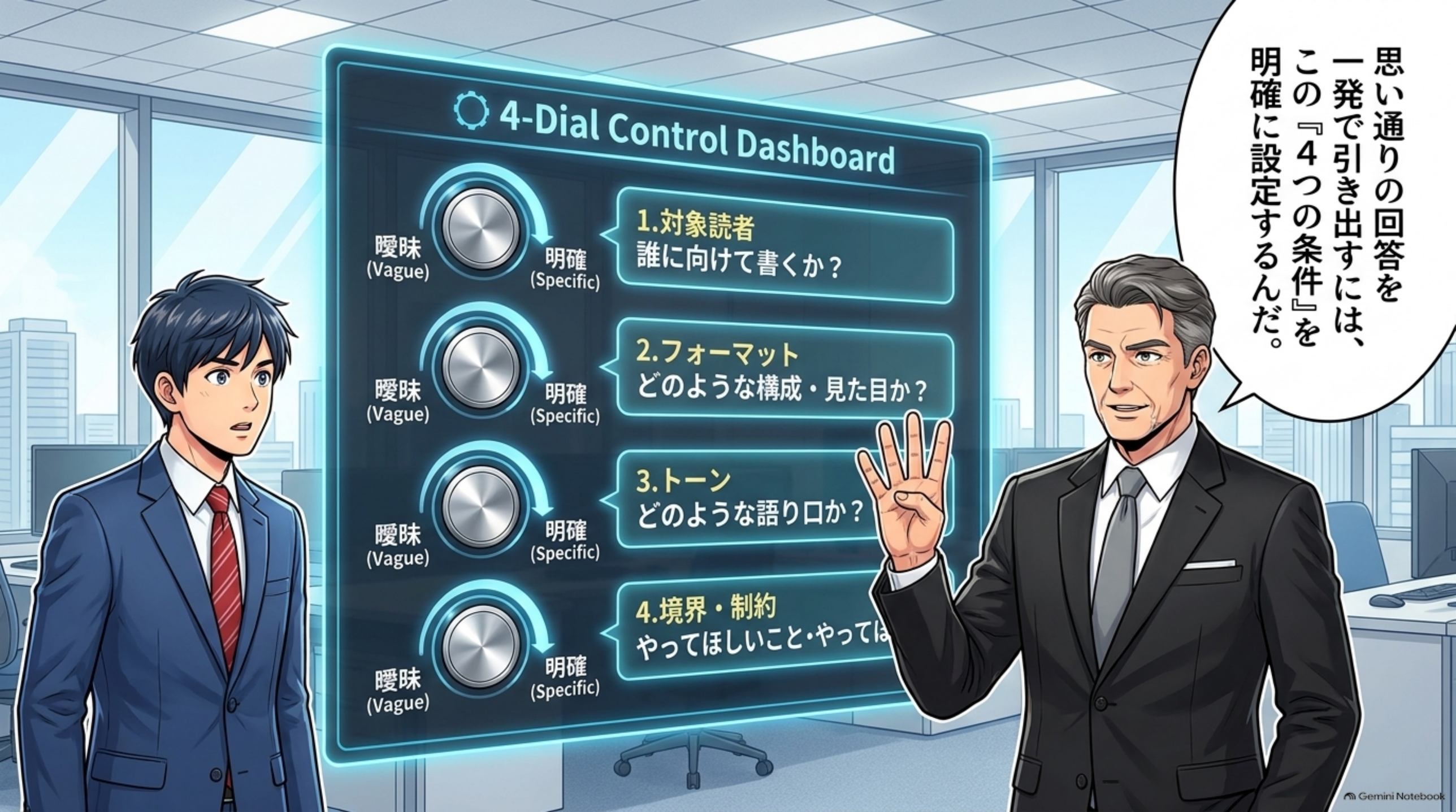
Claudeは検索エンジンじゃない。
次に来る最も自然な言葉を確率で予測する
『次トークン予測（Next-Token Prediction）』
で動いているんだ。

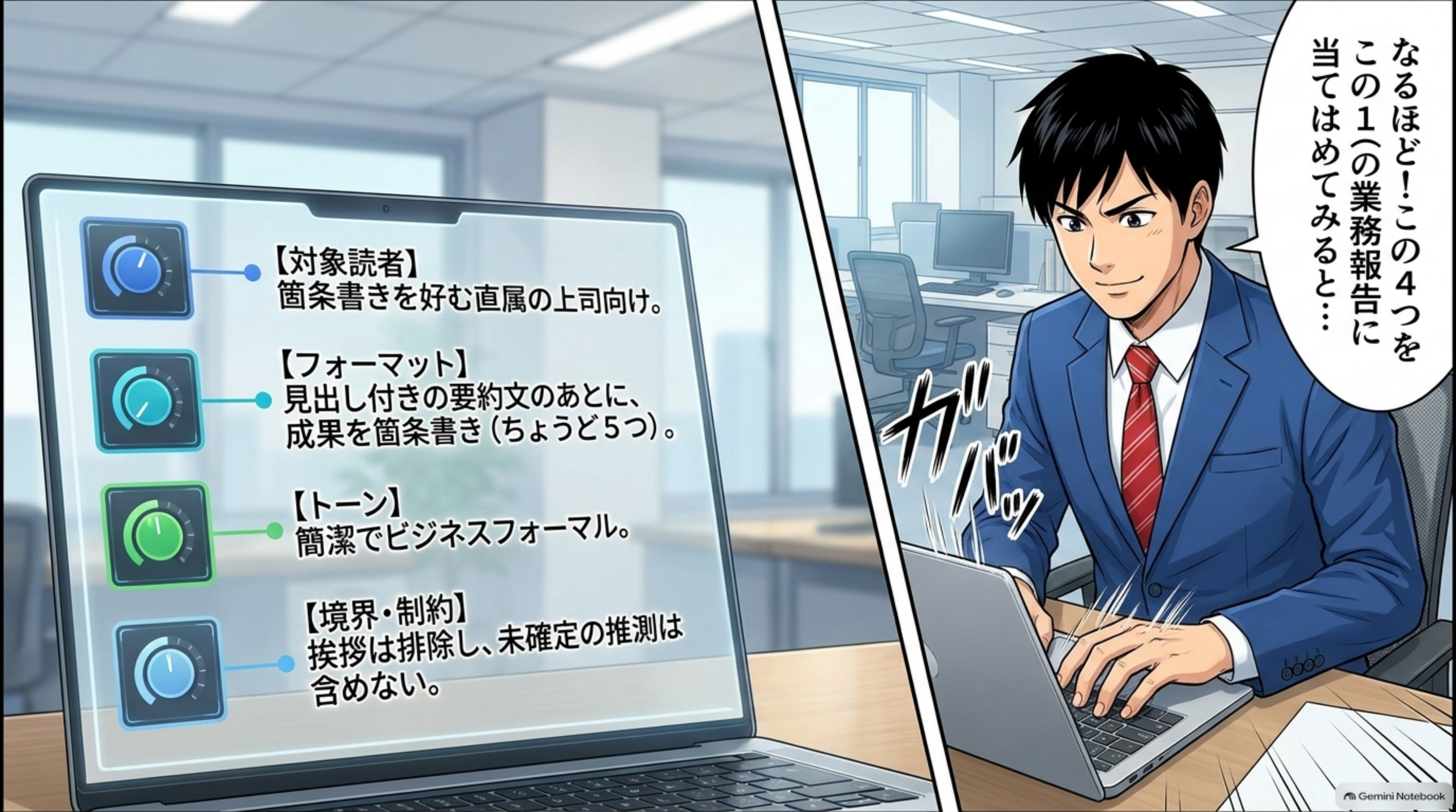
【ステアラビリティ（操作可能性）】
人間の指示に応じて、方向性やトーンを自由自在に変える能力。



君が条件を与えて
『ステアリング（操縦）』しないと、
AIは無難で一般的な方向に
迷い込んでしまうんだよ。

Gemini Notebook


4-Dial Control Dashboard
曖昧
(Vague)
明確
(Specific)
1.対象読者
誰に向けて書くか？
曖昧
(Vague)
明確
(Specific)
2.フォーマット
どのような構成・見た目か？
曖昧
(Vague)
明確
(Specific)
3.トーン
どのような語り口か？
曖昧
(Vague)
明確
(Specific)
4.境界・制約
思い通りの回答を
一発で引き出すには、
この『４つの条件』を
明確に設定するんだ。
Gemini Notebook


【対象読者】
箇条書きを好む直属の上司向け。
【フォーマット】
見出し付きの要約文のあとに、
成果を箇条書き（ちょうど5つ）。
【トーン】
簡潔でビジネスフォーマル。
【境界・制約】
挨拶は排除し、未確定の推測は
含めない。
なるほど！この4つを
この1（の業務報告に
当てはめてみると…
カバッ
Gemini Notebook

AFTER

BEFORE

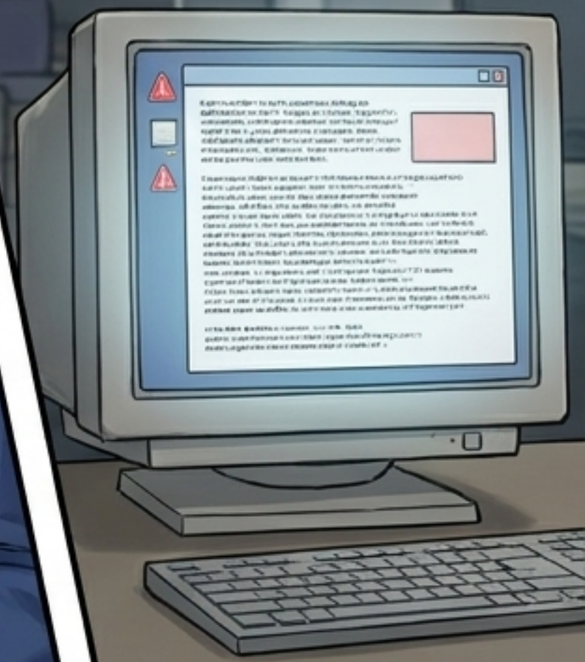
UI

Q1業務進捗および成果報告

- 新システム導入の早期完了…
- 問い合わせ対応時間の削減…
- 新業務進捗および成果完了…
- 問い合わせ対応時間の削減…
- コンテクによりを用聿して…



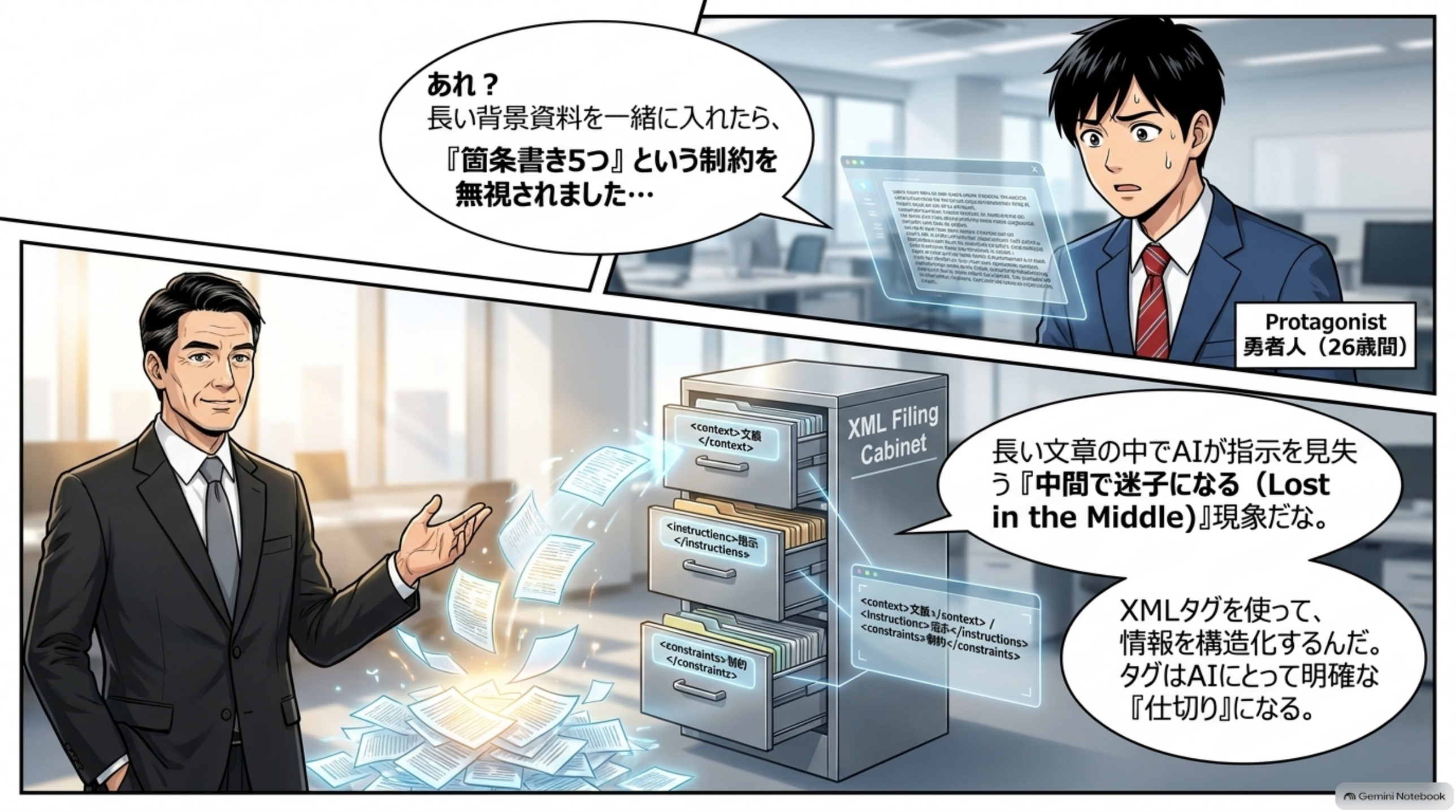
混乱する出力例

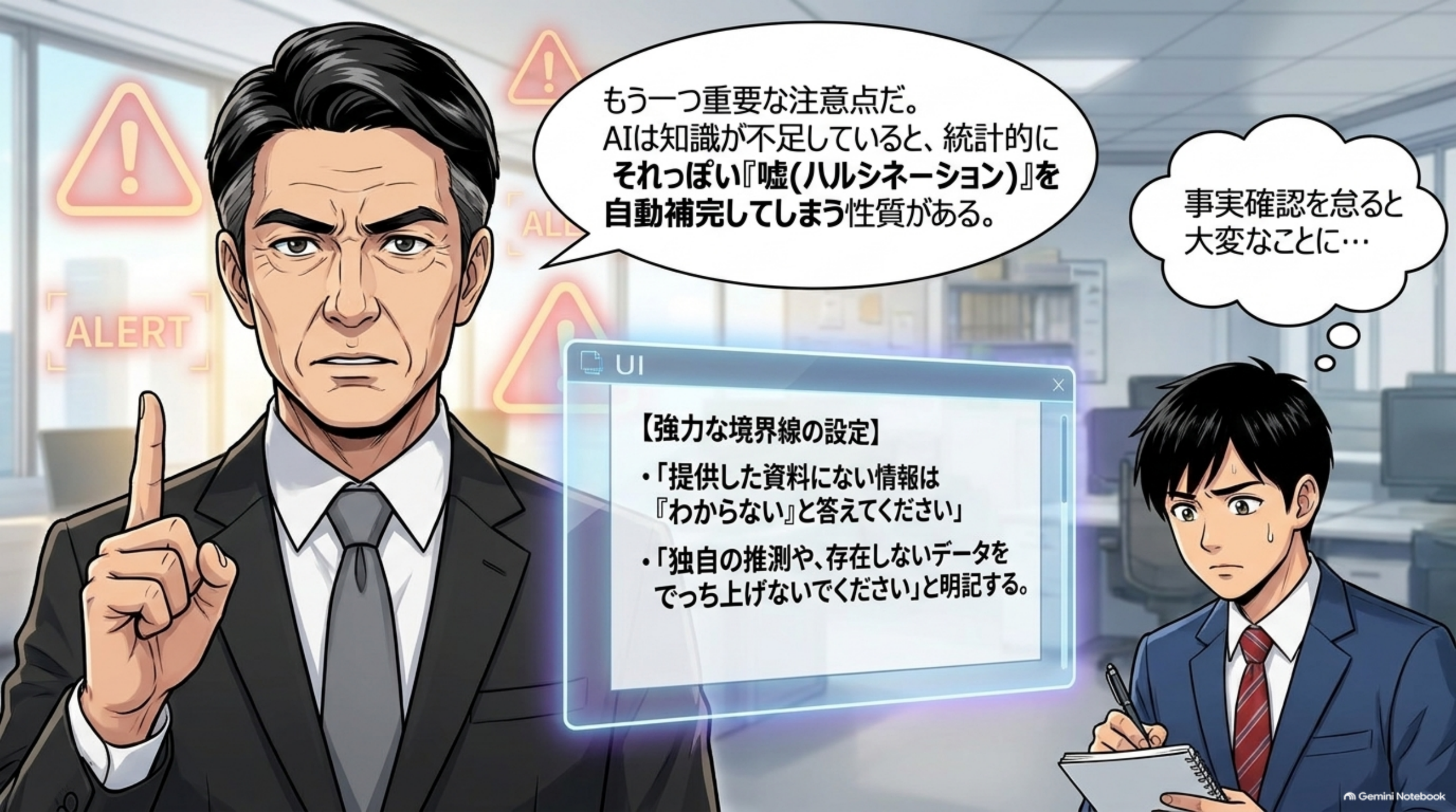


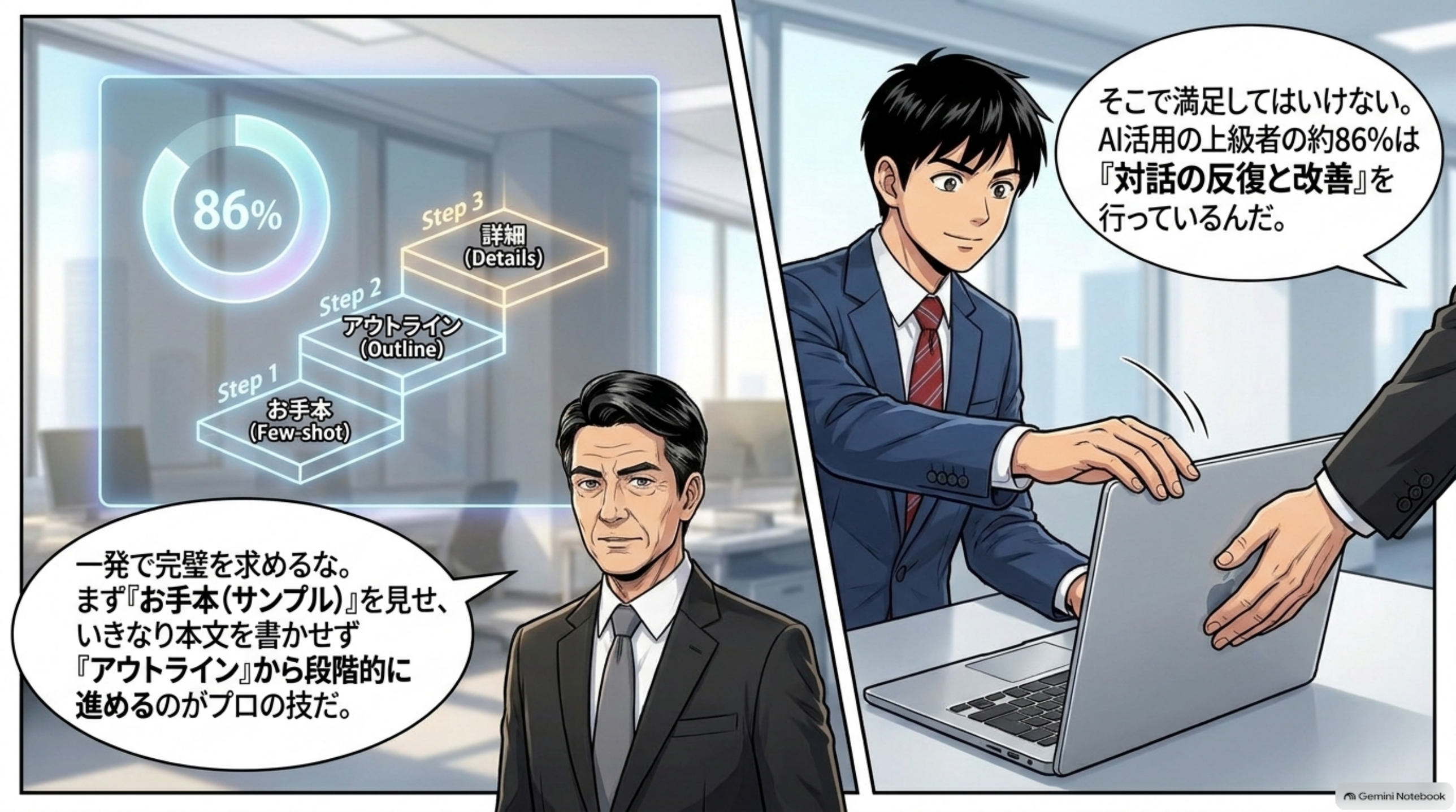
すごい！
余計な前置きもなく、
そのまま報告書に使える
クオリティが
『一発』で出ました！

それが
ステアラビリティを
引き出した結果だ。

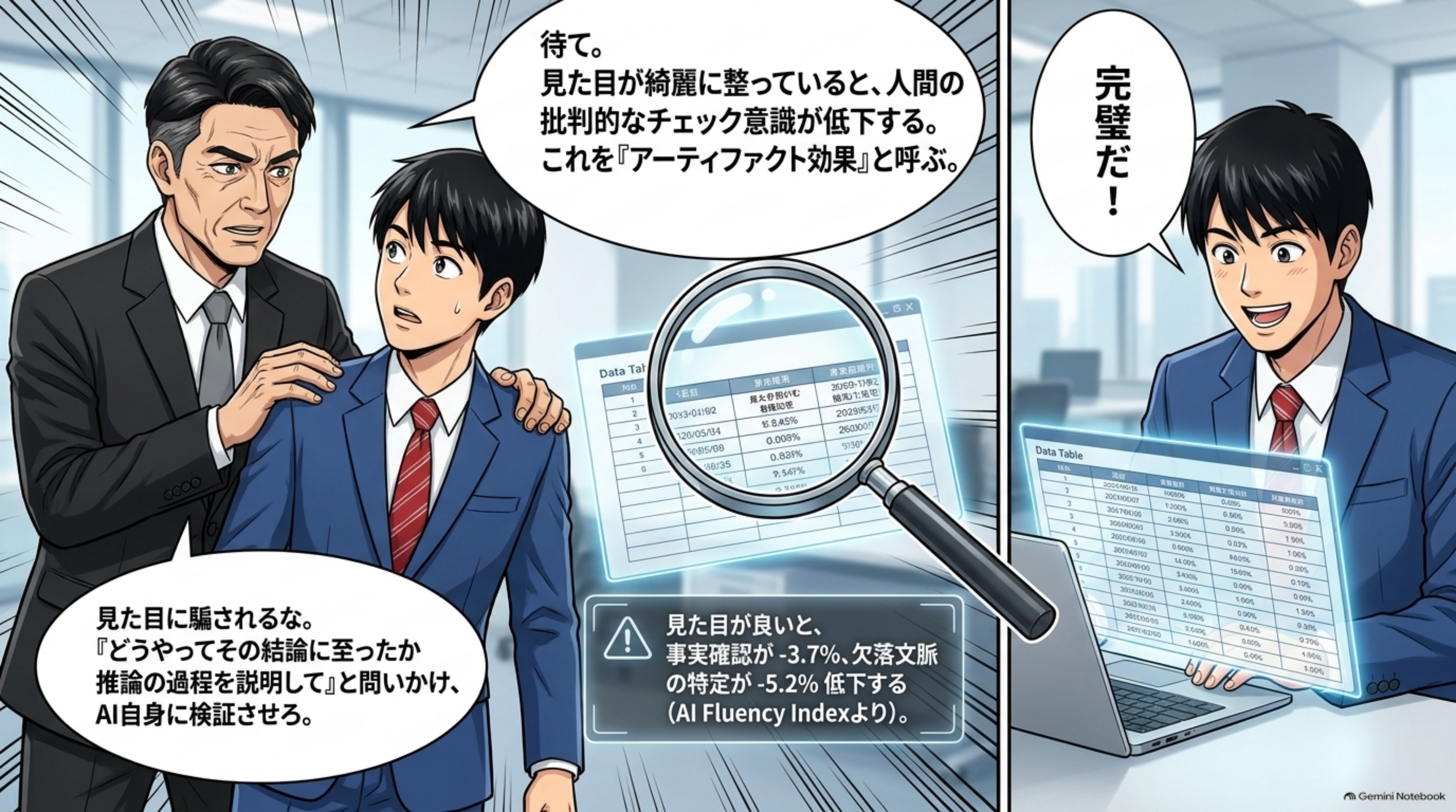
Gemini Notebook


あれ？
長い背景資料を一緒に入れたら、
『箇条書き5つ』という制約を
無視されました…
Protagonist
勇者人（26歳間）
XML Filing Cabinet
<context>文脈</context>
<instructions>指示</instructions>
<constraints>制約</constraints>
<context>文脈</context> /
<instructions>指示</instructions>
<constraints>制約</constraints>
長い文章の中でAIが指示を見失う『中間で迷子になる（Lost in the Middle)』現象だな。
XMLタグを使って、
情報を構造化するんだ。
タグはAIにとって明確な
『仕切り』になる。


もう一つ重要な注意点だ。
AIは知識が不足していると、統計的に
それっぽい『嘘(ハルシネーション)』を
自動補完してしまう性質がある。
事実確認を怠ると
大変なことに…
ALERT
UI
【強力な境界線の設定】
• 「提供した資料にない情報は
『わからない』と答えてください」
• 「独自の推測や、存在しないデータを
でっち上げないでください」と明記する。
Gemini Notebook


86%
Step 3
詳細
(Details)
Step 2
アウトライン
(Outline)
Step 1
お手本
(Few-shot)
一発で完璧を求めるな。
まず『お手本(サンプル)』を見せ、
いきなり本文を書かせず
『アウトライン』から段階的に
進めるのがプロの技だ。
そこで満足してはいけない。
AI活用の上級者の約86%は
『対話の反復と改善』を
行っているんだ。


よし、協働のルールを設定してみよう。
『役員が抱きそうなロジックの穴があれば、私の前提に異議を唱えてください』
…と。
【Claudeの返答】
セキュリティ面のデータ流出リスクと、削減された時間の使い道(定量的価値)が曖昧です。補強が必要と考えられます。
単なる作業者じゃない…
客観的な視点を持った
パートナーとして
思考している！
Gemini Notebook


待て。
見た目が綺麗に整っていると、人間の
批判的なチェック意識が低下する。
これを『アーティファクト効果』と呼ぶ。
見た目に騙されるな。
『どうやってその結論に至ったか
推論の過程を説明して』と問いかけ、
AI自身に検証させろ。
見た目が良いと、
事実確認が -3.7%、欠落文脈
の特定が -5.2% 低下する
（AI Fluency Indexより）。
完璧だ！
Data Table
Gemini Notebook


【Vending Machine】（単発の指示・受動的）
➡【Thinking Partner】（条件指定・反復・協働）
自動販売機ではなく、
一緒に思考を深める
『頼もしいパートナー』ですね！
【今日から試せるアクション】
次のメールや文書作成で、この3つだけを
指示に入れてみてください。
①対象読者　②フォーマット　③トーン
Gemini Notebook